



## 通知テンプレートで使用できるタグ

表 A-1 は、通知テンプレートで使用できるタグのリストとその定義を示しています。通知テンプレートの変更手順については、第 4 章「会議通知のカスタマイズ」を参照してください。

表 A-1 通知テンプレートのタグ

推奨ラベル	タグ	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco AttendMeetingHint -->	How to Attend Meeting パラメータ (Configure タブの Company Information トピックの下にある) に入力されたテキストをすべて挿入します。
Scheduler (スケジュール担当者)	<!--#Cisco SchedulerFirstName --> <!--#Cisco SchedulerLastName -->	スケジュール担当者の氏名を挿入します。
Scheduler phone (スケジュール担当者の電話番号)	<!--#Cisco SchedulerTelephoneNum -->	スケジュール担当者の電話番号を挿入します。
Scheduler fax (スケジュール担当者のファックス番号)	<!--#Cisco SchedulerFaxNum -->	スケジュール担当者のファックス番号を挿入します。
Scheduler e-mail (スケジュール担当者の電子メール)	<!--#Cisco SchedulerEmail -->	スケジュール担当者の電子メール アドレスを挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco MultiServerHelpText <i>This meeting will be held on the following MeetingPlace systems.</i>  <i>Dial the phone number of the system closest to your location. --&gt;</i>	MultiServerHelpText の後ろに入力されたテキストをすべて挿入します。このタグの推奨テキストはイタリックで表示されています。  このタグは、マルチサーバ会議に関する通知だけに表示されます。このタグは、次の ListMultiServers タグとともに使用してください。
Number of ports (ポート数)	<!--#Cisco nLoc -->	会議のポート数を挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco ListMultiServers -->	マルチサーバ会議に関する他の Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の名前と電話番号を挿入します。このタグは、必ず MultiServerHelpText タグの次に指定しなければなりません。
MeetingPlace phone number (MeetingPlace の電話番号)	<!--#Cisco Mtg_TelephoneNum -->	Cisco Unified MeetingPlace のメイン電話番号を挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco AltPhoneLabel_1 --> <!--#Cisco AltPhone_1 -->	最初の Cisco Unified MeetingPlace の代替電話番号とラベルを挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco AltPhoneLabel_2 --> <!--#Cisco AltPhone_2 -->	第 2 の Cisco Unified MeetingPlace の代替電話番号とラベルを挿入します。

表 A-1 通知テンプレートのタグ (続き)

推奨ラベル	タグ	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco AltPhoneLabel_3 --> <!--#Cisco AltPhone_3 -->	第 3 の Cisco Unified MeetingPlace の代替電話番号とラベルを挿入します。
Meeting ID (会議 ID)	<!--#Cisco MTGID -->	会議 ID を挿入します。
Meeting date (会議の日付)	<!--#Cisco Month --> <!--#Cisco Month language=006 --> <!--#Cisco Day -->, <!--#Cisco Year -->	会議の日付を挿入します。 数字のタグにより、言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。
Start time (hh:mm) (開始時刻 (hh:mm))	<!--#Cisco Hour -->: <!--#Cisco Min --> <!--#Cisco AMPM --> <!--#Cisco AMPM language=006 --> <!--#Cisco TimeZone -->	会議の開始時刻を挿入します。 数字のタグにより、特定の言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。
Frequency (頻度)	<!--#Cisco ReOccuringConference --> <!--#Cisco ReOccuringConference language=006 -->	会議の頻度 (週次、月次など) および開催回数を挿入します。 数字のタグにより、言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。
Meeting name (会議名)	<!--#Cisco TextName -->	会議名を挿入します。
Meeting length (min) (会議の所要時間 (min))	<!--#Cisco Len -->	会議の所要時間を挿入します。
Meeting password (会議パスワード)	<!--#Cisco C_Password -->	会議パスワードが割り当てられている場合に、そのパスワードを挿入します。
Meeting description (会議の説明)	<!--#Cisco AttList_MeetingDesc -->	会議のスケジュール担当者が Meeting Description ボックスに入力したテキストを挿入します。
Meeting participants (会議の参加者)	<!--#Cisco ListInvitees -->	会議に招待されている参加者のリストを挿入します。
Who can attend meeting (会議の参加者の資格)	<!--#Cisco EntryRestriction -->	会議に参加できるユーザ (全員、Cisco Unified MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ) を挿入します。
Screened introduction (入席ユーザの選別)	<!--#Cisco fScreenedIntroduction -->	会議に参加しようとしているユーザの入席が、すでに会議に参加しているユーザによって選別されるかどうかを示す情報を挿入します。
Default ability (デフォルトの会議形式)	<!--#Cisco DefaultAbility -->	ディスカッション形式の会議か講義形式の会議かを示す情報を挿入します。

表 A-1 通知テンプレートのタグ (続き)

推奨ラベル	タグ	説明
Previous meeting month (前回の会議の月)	<!--#Cisco MonthPrev --> <!--#Cisco MonthPrev language=006 -->	前回の会議の月を挿入します。 数字のタグにより、特定の言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。
Previous meeting day (前回の会議の日)	<!--#Cisco DayPrev -->	前回の会議の日を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting year (前回の会議の年)	<!--#Cisco YearPrev -->	前回の会議の年を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting hour (前回の会議の時刻 (時間))	<!--#Cisco HourPrev -->	前回の会議の時刻 (時間) を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting minute (前回の会議の時刻 (分))	<!--#Cisco MinPrev -->	前回の会議の時刻 (分) を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting time of day (前回の会議の時刻 (午前 / 午後))	<!--#Cisco AMPMPrev --> <!--#Cisco AMPM Prev language=006 -->	前回の会議の時刻 (午前 / 午後) を挿入します。 数字のタグにより、特定の言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、表 A-2 を参照してください。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Recurring meeting change (定例会議の変更)	<!--#Cisco AllOrOne -->	定例会議で、将来の特定の会議またはすべての会議が変更またはキャンセルされたかどうかを通知する情報を挿入します。 notifyrechedule.tpl および notifycancel.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
MeetingNotes	<!--#Cisco MeetingNotesHint -->	How to Access MeetingNotes パラメータ (Configure タブの Company Information トピックの下にある) に入力されたテキストをすべて挿入します。
Record conference (会議の記録)	<!--#Cisco fRecordConference -->	会議が記録されるようにスケジュールされているかどうかを示す情報を挿入します。
Who can access the recording (会議の記録にアクセスできるユーザ)	<!--#Cisco WhoCanListen -->	会議の記録にアクセスできるユーザ (なし、全員、Cisco Unified MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ) を挿入します。

表 A-1 通知テンプレートのタグ (続き)

推奨ラベル	タグ	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco ReschedReason -->	前回スケジュールされた会議の変更点(新しい日付、時刻、添付など)を説明したテキストを挿入します。  notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco MCUServiceCode-->	サービス プレフィックスを挿入します。このプレフィックスが会議 ID に付加されてビデオ会議 ID になります。ビデオ エンドポイントを使用する参加者は、会議のビデオ部分に参加するためにこの会議 ID を入力する必要があります。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco VideoPhoneMain -->	ビデオ エンドポイントを使用する参加者が Cisco Unified MeetingPlace にアクセスするためにダイヤルする必要のある電話番号を挿入します。
Invited terminals (招待された端末)	<!--#Cisco ListTerminals -->	会議に招待されているビデオ端末のリストを挿入します。
Video management (ビデオ管理)	<!--#Cisco RadInSessionCtrlUrl -->	会議にセッション中のビデオ コントロール機能を追加するための Cisco Unified MeetingPlace Video Administration にハイパーリンクを挿入します。
Meeting category (会議のカテゴリ)	<!--#Cisco MeetingCategory -->	スケジュール担当者が選択した会議のカテゴリを挿入します。

表 A-2 は、タグで使用できる言語のマッピングを示します。

表 A-2 言語のマッピング

言語	マッピング
フランス語	language=004
ドイツ語	language=005
日本語	language=006
スペイン語	language=014
ポルトガル語	language=015